

「うぶめがもどるまで、妖怪子預かり屋として心をこめて世話をせよ。」

ようかい  
妖怪の子預かります 1

廣嶋 玲子／作 Minoru／絵

東京創元社 191p F/t/1

長屋に越してきたのは、全く話さない男の子“弥助”  
と按摩<sup>あんま</sup>を仕事にする目の見えない男“千弥”の2人でした。ある日、千弥の仕事について行った弥助は、近くの森で見つけた白い石を割ってしまいました。実は、それは妖怪の子を預かるうぶめの住まいだったので、心を痛めたうぶめはどこかへ消えてしまい、弥助は代わりに妖怪の子を預かることになってしまいました。  
大磯町電子図書館で読める電子書籍もあります。



「つまり、それだけシェーラザード王国は平和な国だったのです。」

——ついこのまえ、一月まえの“あの日”までは……。」

シェーラひめのぼうけん 魔神の指輪

村山 早紀／作 佐竹 美保／画

童心社 153p F/M

シェーラひめは、砂漠の東のはてにあるシェーラザード王国のおひめさま。ある日、悪い魔法使いによって、国王である父をはじめ、国の全てを石に変えられてしまいました。幼馴染<sup>おきななじみ</sup>の魔法使いファリードといっしょに、王国を取り戻すための旅が始まります。



## 5. 6年生向き

ねんふゆやす

としよ

### 2023 年冬休みすいせん図書

ふゆやす とくしよ  
冬休みは、ほくほく読書!!



でんし としょかん  
電子図書館 も  
よんでみてね。

おおいそまちでんしとしょかん  
大磯町電子図書館

<https://web.d-library.jp/oiso/g0101/top/>



おお いそ ちよう りつ と しょ かん  
大 磯 町 立 図 書 館



「とにかく、あたしが一番図書館を気に入ったのは、だれもあたしを相手にしないってことだ。」

## 虹いろ図書館のへびおとこ

櫻井 とりお／著

河出書房新社 283p F/㍲

小学6年生の二学期、ほのかはイジメにあって転校したばかりの学校に行けなくなってしまいました。家には仕事から帰ってきたばかりのお父さんがいます。どこにも行けず、さまよったほのかは、町の図書館に着きました。そこにはへびおとこと呼ばれた職員や中学生のスタビンス君、そしてたくさんのお本など、様々な出会いがありました。



「リアルな中学校ってこんなところ！」

## 中学校ってどんなところ？ 楽しい中学生生活のヒント大全

升野 伸子／監修

世界文化ブックス 世界文化社（発売）

191p 37/㍲

中学生になるのが不安な人は、この本を読んでリアルな中学生生活をイメージしてみませんか。中学生の勉強や部活、SNSなど、みんなが気になるテーマをマンガやイラストをたくさん交えて紹介します。



「小さなモモにできたこと、それはほかでもありません、あいての話を聞くことでした。」

## モモ

ミヒヤエル・エンデ／作 大島 かおり／訳

岩波書店 360p F4/E

モモは小さな円形劇場の<sup>はいきよ</sup>廃墟に住みついた小さな女の子です。ある日、目に留まったのは、ふしぎな灰色の男たち。彼らは少しずつ大都会の人びとのくらしの中にしびこんで、人間に節約させた時間をむしり取っていたのです。モモは時間を取り返すため、灰色の男たちに立ち向かっていきます。



「おにぎりは好きですか。」

## 稲と日本人

甲斐 信枝／さく 佐藤 洋一郎／監修

福音館書店 63p 61/㍲

今では毎日食べられるようになったお米ですが、病虫害や干ばつ、冷害といった大自然の災害による<sup>ききん</sup>飢饉を乗り越えようと努力を続けてきました。この本では、さまざまな困難に立ちむかい、安定した収穫ができるようになった現在までの、二千数百年の稲の歴史を<sup>かいみ</sup>垣間見ることができます。

